

研修目標と実習方法について

職種名「診療放射線技師レジデント」

1 概要

放射線診療業務全般に関する基礎的技術の習得、放射線診断・核医学・放射線治療に関するがん専門知識・技能の習得、画像処理・線量測定（高エネルギーX線・陽子線）・放射線治療計画・放射線防護・放射線管理・機器管理・品質管理に関する専門知識・技能の習得を図り、がん医療に精通した診療放射線技師を養成する。

2 目標

1) 一般目標

診療放射線業務全般に関する基本的技術の習得

2) 行動目標

下記知識・技能の習得を目標とする。

- ・ 放射線診断に関するがん専門知識・技能の習得
- ・ 放射線治療に関するがん専門知識・技能の習得
- ・ 放射線防護・放射線管理、機器管理、品質管理に関する専門知識・技能の習得

3 実習方法

下記について、1年目は画像診断を中心に、一般撮影、消化管、CT、血管、MRI、核医学を実習する。2年目は放射線治療にてリニアック、小線源、陽子線を実習し、放射線管理を学ぶ。また、各部署にて講義、カンファレンスに参加することで知識、技術を習得する。

- a) がん診断のための撮影検査理論と臨床技術（一般撮影、消化管撮影、血管造影、IVR、CT、MRI、核医学、PET）
- b) がん放射線治療のための臨床技術（リニアック、小線源治療、陽子線）
- d) X線撮影装置及び放射線治療装置の品質管理
- e) 放射線防護、放射線管理に関する法令に関する
- f) 医師、看護師などの他医療職種とのチーム医療の実践